

【石下駅周辺まちづくりワークショップ】

第1回 結果・まとめ

ワークショップとは...

さまざまな立場の人が集まって、気軽に意見交換を楽しみながら、
参加者がお互いに気づきあい知恵を出し合っていく体験型講座

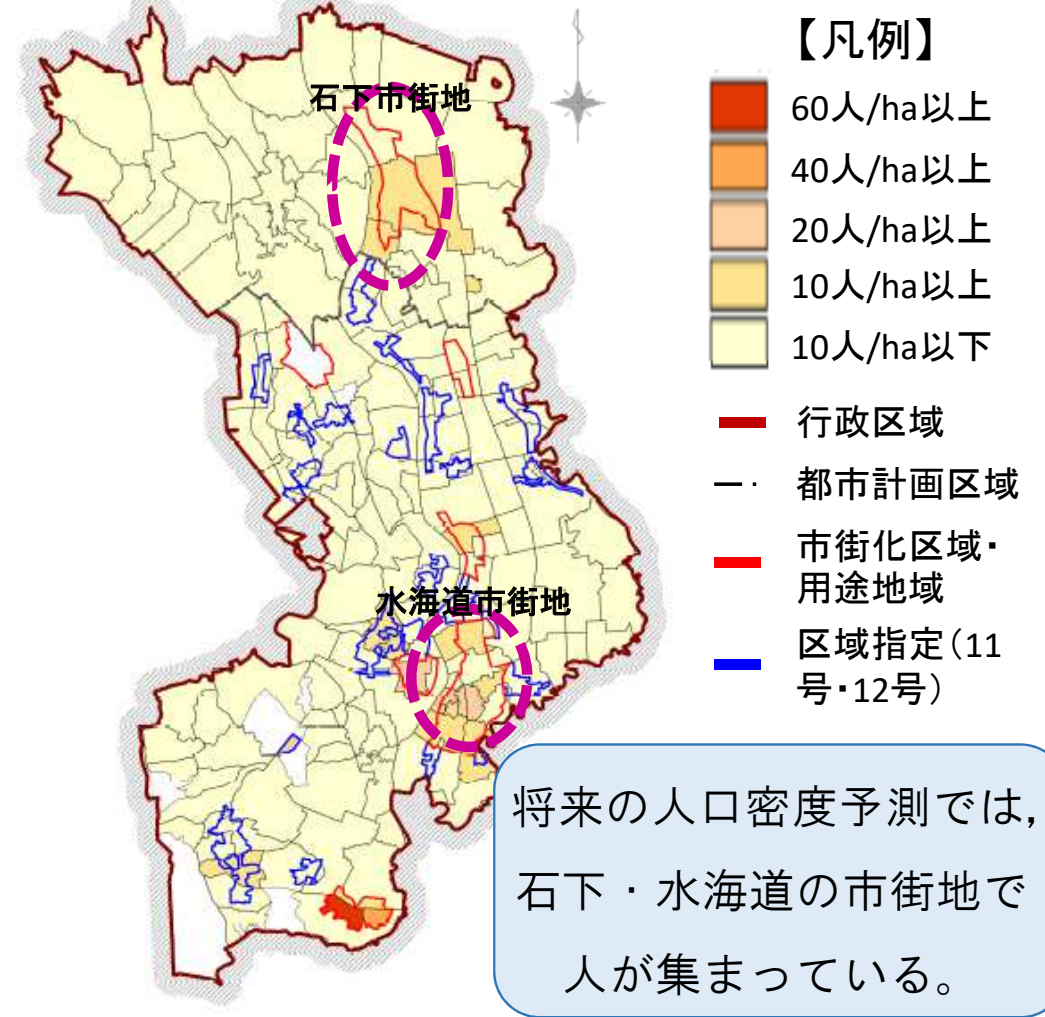
常総市の現状と課題(1)

市の人口について



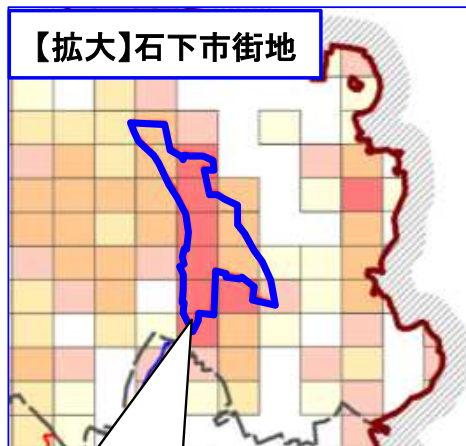
現在も人口が減少している。
 将来、若い世代が大きく減少する傾向にある。

▼常総市全体の人口密度(2045年の推計値)



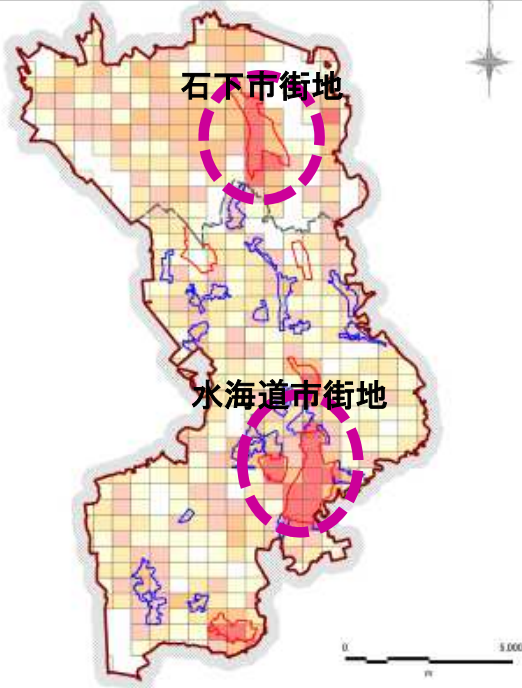
常総市の現状と課題(2)

人口分布と施設の立地状況

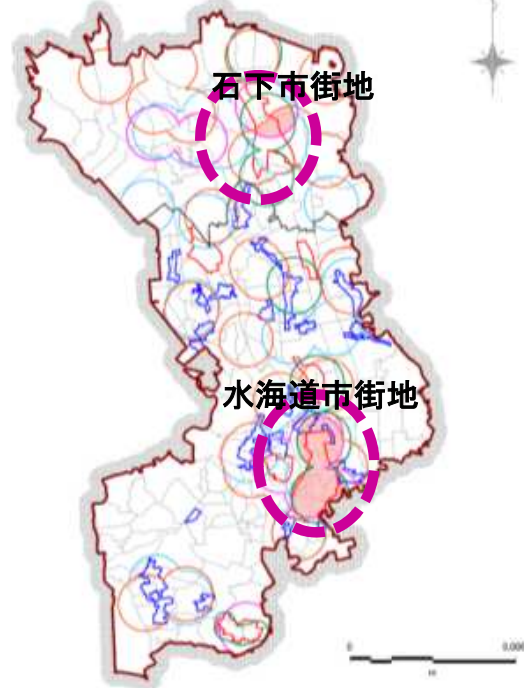


赤みが強いほど、人口の密度が高い

H27年度の人口分布

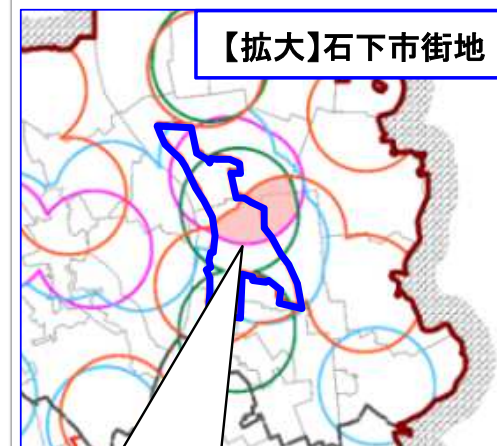


日常生活サービス施設の立地状況



【日常生活サービス施設】

- ・医療施設
- ・福祉施設
- ・商業施設
- ・公共交通機関



日常生活サービスが整ったエリア(複数施設が重なったピンクの部分)

- ・石下地区では市街地での人口密度が高く、日常生活サービス施設が整ったエリアが存在する。
- ・日常生活サービス施設が整ったエリアが市街地内でも小さい(市街地内に施設が少ない)。

まちづくりの進め方（なぜワークショップを行うのか）

現状と課題の整理

人口の増減

人口が減少している。将来も若い世代の減少が大きい。

人口分布

石下地区では、将来的にも市街地で多く人口が集まっている。

市街地の施設

石下地区では、日常生活サービス施設が、市街地でも少ない。

まちづくりの進め方

市街地内の住環境を充実させ、賑わいを創る。



地区の利便性を高めて、人口の維持・増加を目指す。

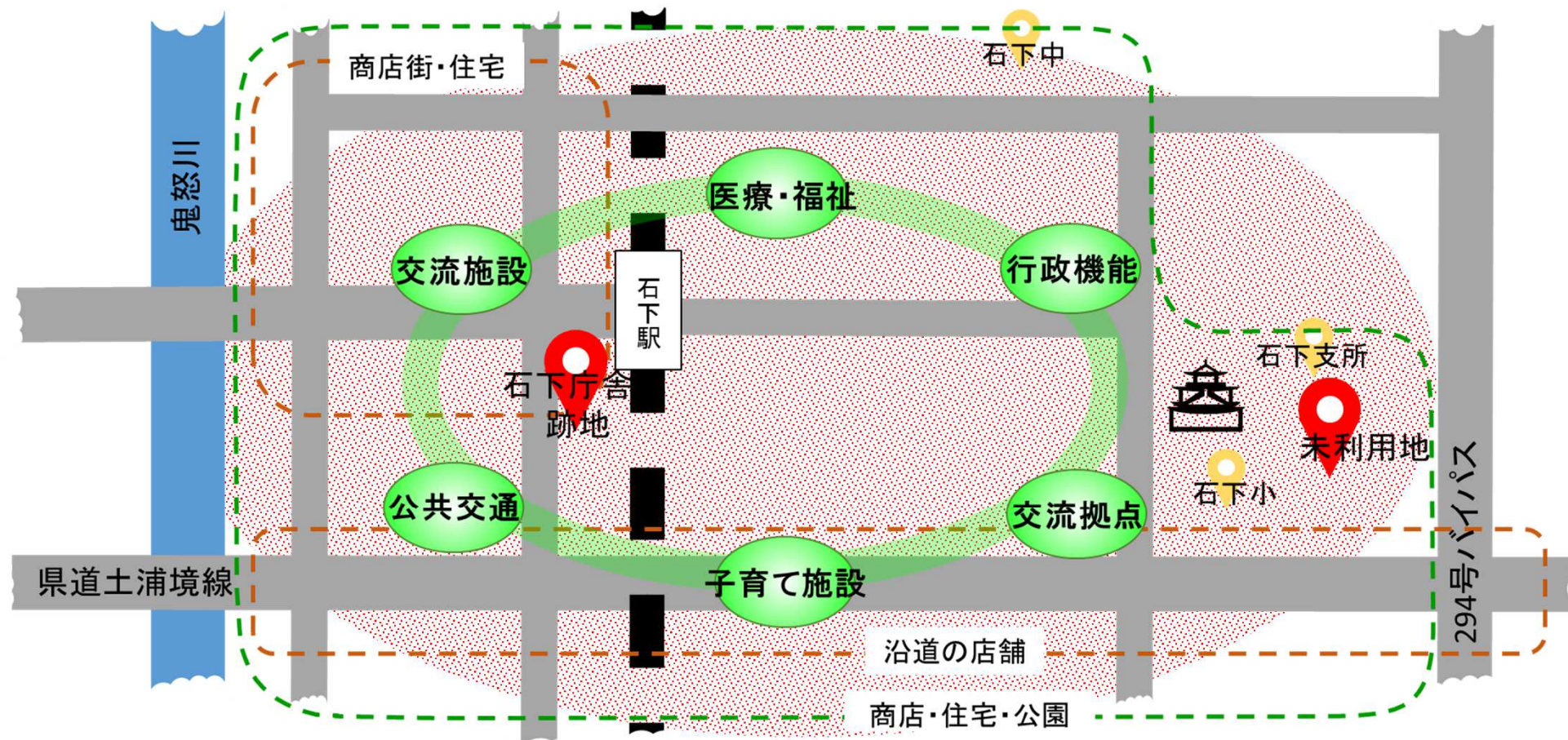
市所有の未利用地等を石下地区まちづくりに効果的に活用していきたい。

なぜワークショップを行うのか

“地域にマッチしたまちづくり”を進めるため、“どんな機能が必要か”や“これからのまちづくり”

について、地域に触れている方と気づきあい、知恵を出し合って検討していくため

これから目指したい“まちのイメージ”



人口減少・少子高齢化が進む将来においても、このまちで暮らすために
必要な施設や機能を取り入れたまちを地域住民と一緒に創り出す。

第1回まちづくりワークショップ

令和元年12月15日(日曜日) 13:00~17:00

対象者 : 石下地区のまちづくりに関心がある方 (当日参加者:29名)

内容 : 第1部 フィールドワーク ~ 対象地区を歩きながら現状を点検しよう! ~
第2部 ワークショップ ~ みんなで意見を出し合い提案しよう! ~

検討対象 : ○石下駅周辺(東西駅前広場) ○旧石下庁舎跡地 ○石下東部拠点周辺
○市有地 ○歩いた道路の環境 ○まちの雰囲気

ワークショップの風景



フィールドワーク



提案内容の発表



講評

第1回まちづくりワークショップ

令和元年12月15日(日曜日) 13:00~17:00

ワークショップで提案されたご意見(4チームの内容)

石下駅周辺・旧石下庁舎跡地

- ・コンビニや喫茶店など待ち時間を過ごせる場所が欲しい
- ・駅前と庁舎跡地の整備が必要
- ・定期的なイベント、飲み屋や屋台があってもいい!
- ・駅入り口交差点、朝夕の渋滞がひどい
- ・駅、線路で街の東西が分断されている。
- ・まちをもっと明るくしたい
- ・高齢者向け住宅や医療施設
- ・もっと歩きやすく、歩道の整備

石下支所・東部拠点・未利用地

- ・未利用地＝水害のイメージ
- ・飲食店が欲しい
- ・高齢者も集まれる場所(“きょういく所”と“きょうようがある所”)
- ・幼稚園が欲しい
- ・体育館、体育館敷地を活用
- ・お土産屋や食堂を設置して、交流センターの利用者を増やす。
- ・ローカルバスの導入
- ・今どきの公園(バーベキューが出来る公園)が欲しい。

歩いた道路の環境

- ・歩いている人がいない。
- ・夕方や夜が暗いので、街灯を増やしたい。
- ・安全に歩ける歩道が欲しい。(側溝の蓋、路肩の整備)
- ・まち中にバスを巡回させる。
- ・街路樹の手入れ

まちの様子や雰囲気

- ・道から公園がわかるように見通しをよくして欲しい
(遊んでいる雰囲気が出るように)
- ・まちを明るく、街灯を増やして欲しい。
- ・電柱を地中化して景観をよくする。
- ・賑わいを感じない(人が少ない)。
- ・子供たちも外で活発に運動できるようなまちにしたい。